

## ■ 次期亀岡市生涯学習推進基本計画策定について（案）

### ●方針

#### 【現計画】

- ①学びの機会創出や仕組みづくり、環境整備等の生涯学習に直接関係する項目
- ②子育て支援、人権教育、自然環境など各専門分野の内容を生涯学習の視点で捉えた項目

#### 【次期計画】

- ①学びの機会創出や仕組みづくり、環境整備等の生涯学習に直接関係する項目

理由：現計画の10年間において、亀岡市の施策全般を管理する総合計画が策定され、各分野の施策に対しても委員会や実行委員会の設置が進み、そこでの議論をもとにした計画の策定・進捗状況の管理がされている。

当審議会においては、各専門分野で進められる施策の管理・実行は任せ、それらの施策がさらに効果的なものになるよう「生涯学習」の視点からまちの学習機会の充実や仕組みづくり、環境整備に重点を置いて取り組む。

市全体の取り組みを把握し生涯学習の視点で評価することで読み取れるまちの現状もあり、そこから新たな本計画での課題・成果が見えてくる可能性もあるため、必要に応じて総計の調書を活用し、計画の進捗状況の確認や、計画見直しの材料とする。

### ●スケジュール

2018年度

#### 第1回(H31. 3. 19)

- ①現計画の進捗状況の確認
- ②次期計画に向けた方針、スケジュールの確認
- ③亀岡市の生涯学習のまちづくりにおける成果と課題を議論

2019年度

#### 第1回(7月)【諮問】

- ④次期計画策定に向けた協議  
現計画を踏襲しつつ、亀岡市の現状や社会状況等を踏まえた部分的な修正を行う

#### 第2回(9月)【素案】

- ⑤計画における重点項目の整理
  - ④で整理した次期計画面案において特に力を入れて取り組みを進める項目の選定
  - ※重点項目については、前期（5年）後期（5年）に分けて設定してはどうか
  - ※後期の項目については、前期の状況を見て計画策定後に設定してもよい。

#### 第3回(12月)【答申(案)】

- ⑥計画全体の整理
- ⑦計画策定後について（審議会の関わり方、計画進捗状況の確認体制の確認）

答 申